



みなさんも記憶に残る「名画」があるでしょう。なぜ残るのか？多分、映画館の持つ空間の魅力＋「作品」との出会いだと思います・・・。そんな「映画」と＜映画館＞の魅力を変えて紐解いてみたいと思います。
～今宵は「名画座」にお出かけください～

(文：竹石研二 写真：旧七ッ梅酒造の深谷シネマ)

まちの映画館の消滅から復活、さらに廃墟から文化村へ。再生の取り組みに迫る！

内容：文文茶釜「24コマで愛を語る」①東京神楽坂での座学 ②埼玉深谷での映画鑑賞と会場見学会

開催日時：①2011年5月21日(土曜日)15:00～ ②22日(日曜日)13:00～

会場①：毘沙門天(善国寺)向かいの煎餅屋さんの2階 ハーツ環境デザイン内
(東京都新宿区神楽坂神楽坂4-2 福井ビル202)

②：旧七ッ梅酒造の深谷シネマ
(埼玉県深谷市深谷町9-12 深谷シネマ)

参加費：①+② 5000円(映画鑑賞券付き) ①のみの場合 3000円(映画鑑賞券付き)



□講師 竹石研二「深谷シネマ」館長

1948年東京都墨田区向島生まれ。27歳で横浜放送映画専門学院・一期生(現日本映画大学)浦山ゼミで学ぶ。卒業後、日活児童映画に勤務。その後、妻の地元埼玉県深谷市に転居し生協で働く。50歳を機に、NPO法人市民シアター・エフを立ち上げ、2002年7月商店街の旧銀行に「深谷シネマ」を深谷市と商工会議所と協働で開設。2010年4月、「旧七ッ梅酒造」の「酒蔵」に移転しリニューアルオープン。座席60席の街の映画館。映画「ゲゲゲの女房」「サイタマノラッパー」など映画出演も多数。

[申込方法]

氏名、電話番号、メールアドレス、申込人数をご記載のうえ、件名を[文文茶釜5/21申込み]としてナナツユメ実行委員会 nana@speaker-inc.comまでお申し込みください。

■主催：ナナツユメ実行委員会 | 新たな文化の波紋を酒造の蔵から

各地酒造関係の施設で京都伏見を応援する活動を行う。2011年より東京神楽坂、銀座で京都や食を意識した講座、まちあるき、食事会、ワークショップなどを開催。

[http:// ナナツユメ.com](http://nana@speaker-inc.com)

チャリティーイベントのお知らせ

開催日時：2011年6月21日(火曜日)18:00開演 会場：旧七ッ梅酒造の深谷シネマ

内容：「サウンドオブサイレント」

(前半)海外の映画館館長と深谷シネマ館長の対談(後半)シネコンサート：出演神崎えり(無声映画伴奏ピアニスト)

参加費：2000円(収益を東北地方太平洋沖地震の義援金として寄付)

協力：深谷シネマ 助成：財団法人アサヒビール文化芸術財団